

三菱UFJフィナンシャル・グループ
MUFG通信

第9期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

証券コード：8306

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

私から、平成25年度の業績および中期経営計画についてご説明いたします。



平成25年度の業績

平成25年度の連結当期純利益は、9,848億円と、上方修正後の目標9,100億円を上回り、前年度比1,322億円の増益となりました。

国内では、アベノミクスの効果もあり、株式市場が活気を取り戻したほか、企業の皆さまの資金需要回復基調が鮮明となるなど、明るい変化が見られ、当社の業績も個人部門、法人部門を中心に好調に推移しました。海外では、新興国の成長鈍化や米国の金融緩和縮小開始、一部の地域での政治的緊張の高まりなどの不安定要素はありましたが、お客さまの海外での金融ニーズに積極的にお応えした結果、国際部門の業績も順調に推移しました。

これまでの総合金融サービス力強化に向けたさまざまな取組みの成果が現れ、このように顧客部門の収益(お客さまへの金融サービス提供に基づく収益)が伸長し、営業利益で8割を超えました。

財務の健全性の観点では、普通株式等Tier1比率が11.25%と現在の金融規制に照らして十分な水準を維持しています。また、不良債権比率も1.41%と引き続き低い水準にとどまっています。

普通株式の配当は、好調な業績を反映し、期末の配当を当初予想の7円から9円に増額し、中間配当の7円と合わせ、年間16円(前年度比3円増加)となりました。

中期経営計画について

3ヵ年中期経営計画の2年目となる平成25年度は、攻守両面での施策を実行し、今後の安定成長に向けた土台作りを進めました。国内では、日本経済の再興に金融面から貢献すべく、NISA(少額投資非課税制度)などを活用した個人のお客さまの資産形成を支援したほか、M&Aや設備投資などに伴う資金需要に的確にお応えし、企業のお客さまの成長をサポートしました。さらに、中長期的な成長に向けて、タイのアユタヤ銀行を子会社化し、さらなる経済成長が期待できるアジアでの事業基盤を拡大しました。また、経営管理の面では、「リスク委員会」(取締役会傘下の委員会)や「グローバル・アドバイザリーボード」(経営会議の諮問機関)を設置し、ガバナンス(企業統治)態勢の強化に努めました。

中期経営計画の最終年度となる平成26年度は、日本経済再興へのさらなる貢献と持続的成長に向けた事業基盤の構築を軸に挑戦を続け、計画達成に向けて前進してまいります。日本では、政府による成長戦略の具体化が期待されますが、金融仲介機能を積極的に発揮し、個人のお客さまに対する「貯蓄から投資へ」の流れのサポートや、法人のお客さまに向けた資金需要の能動的な創出を通じて、日本経済の再興に金融面から貢献していきます。海外では、アユタヤ銀行と三菱東京UFJ銀行のバンコック支店の統合、ユニオンバンクと三菱東京UFJ銀行の米州事業の統合という2つの重要な組織統合を着実に遂行するほか、グループ間の協働を深め、一層付加価値の高いサービスを提供していきます。ガバナンス面では、「ガバナンス委員会」(取締役会傘下の委員会)の新設および社外取締役の増員を決定しました。引き続き、複雑化する国際金融規制や変化の激しい世界経済の動向を踏まえた適切な経営を行っていきます。

資本政策については、引き続き、「充実した自己資本を維持」しつつ、「収益力の強化に向けた資本の活用」と「株主還元の一層の充実」を目指してまいります。

MUFGは、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」を目指し、皆さまの期待や信頼に応えてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年6月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

取締役社長

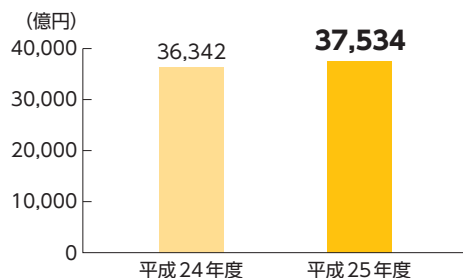
平野信行

平成25年度の業績

✓ 決算のポイント

- 連結当期純利益は、9,848億円と、業績目標9,100億円を上回り、前年度比1,322億円の増益
- 貸出金は、前年度末比10.6兆円増加。預金は13.0兆円増加
- 普通株式等Tier1比率は、11.25%

連結業務粗利益



連結業務粗利益は、国債等債券関係損益が大幅に減少しましたが、資金利益や役員取引等利益の増加により、前年度比1,192億円の増加となりました。資金利益は、海外貸出の増加を主因として617億円増加しました。また、役員取引等利益は、運用商品の販売や投資銀行業務などの手数料収益が伸び、1,180億円の増加となりました。

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	
資金利益	
信託報酬+役員取引等利益	
特定取引利益+その他業務利益	
うち国債等債券関係損益	
営業費(△)	
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
与信関係費用総額(△は費用)	
株式等関係損益	
持分法による投資損益	
その他の臨時損益	
経常利益	
特別損益	
法人税等合計	
少数株主利益(△)	
連結当期純利益	

(単位：億円)

平成24年度	平成25年度
36,342	37,534
18,168	18,786
11,373	12,687
6,799	6,061
3,367	1,428
20,950	22,893
15,392	14,641
△ 1,156	118
△ 536	1,445
520	1,124
△ 777	△ 382
13,441	16,948
96	△ 1,517
△ 3,957	△ 4,399
1,053	1,181
8,526	9,848

営業費

営業費は、海外事業に係る経費を主因に前年度比1,943億円増加し22,893億円となりました。

与信関係費用総額*

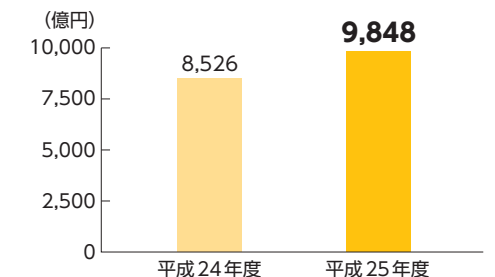
一般貸倒引当金の大幅な戻入を主因に、118億円の戻り益を計上しました。

* 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+償却債権取立益+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)

株式等関係損益

一時的な要因により株式等売却益が大幅に増加したことに加え、株式等償却が低水準にとどまったことから、1,445億円の利益を計上しました。

連結当期純利益

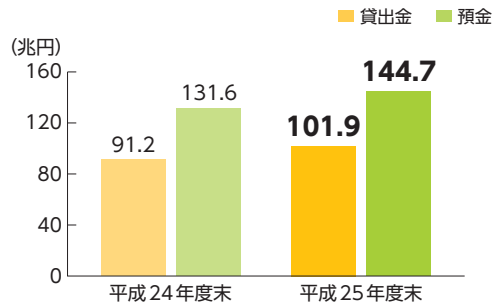


三菱UFJニコスののれんの減損損失を主因に特別損益は1,517億円の損失となりましたが、当期純利益は9,848億円と、前年度比1,322億円の増益となりました。

(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

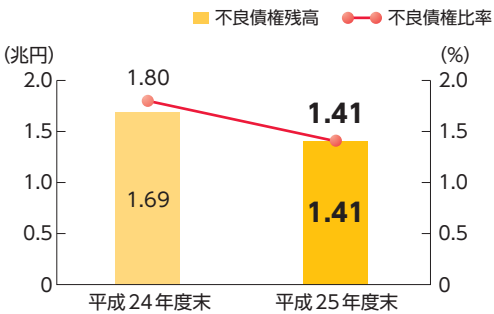
平成25年度の業績

貸出金・預金



貸出金残高は、アユタヤ銀行の連結子会社化に加え、国内法人貸出や海外貸出の増加、為替の影響により、前年度末比10.6兆円の増加となりました。
預金残高も、アユタヤ銀行の連結子会社化に加え、個人・法人・海外での増加、為替の影響により13.0兆円の増加となりました。

不良債権残高・比率*



不良債権比率は1.41%と、前年度末比0.38ポイント低下しました。

* 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	2,344,987	2,581,319
貸出金(銀行勘定)	912,995	1,019,389
有価証券	795,268	745,155
うち国債	487,079	406,499
負債の部合計	2,209,790	2,430,190
預金	1,316,970	1,447,602
純資産の部合計	135,196	151,128

不良債権の状況

不良債権(金融再生法開示債権)	16,968	14,181
不良債権比率	1.80%	1.41%

有価証券評価損益の状況(連結)

その他有価証券評価損益	18,851	18,699
-------------	--------	--------

自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	11.70%	11.25%
Tier1比率	12.74%	12.45%
総自己資本比率	16.68%	15.53%
リスク・アセット	879,686	990,843

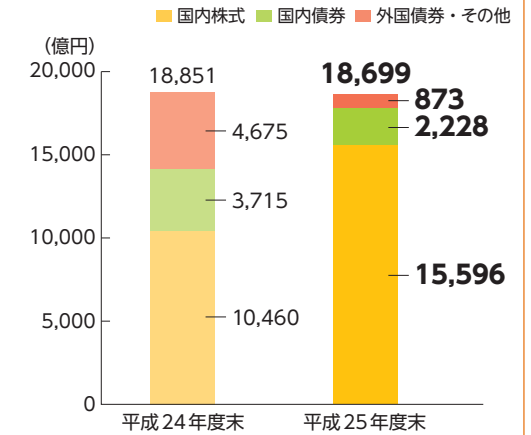
(単位：億円)

	平成24年度末	平成25年度末
資産の部合計	2,344,987	2,581,319
貸出金(銀行勘定)	912,995	1,019,389
有価証券	795,268	745,155
うち国債	487,079	406,499
負債の部合計	2,209,790	2,430,190
預金	1,316,970	1,447,602
純資産の部合計	135,196	151,128
不良債権(金融再生法開示債権)	16,968	14,181
不良債権比率	1.80%	1.41%
その他有価証券評価損益	18,851	18,699
普通株式等Tier1比率	11.70%	11.25%
Tier1比率	12.74%	12.45%
総自己資本比率	16.68%	15.53%
リスク・アセット	879,686	990,843

国債

国債保有残高は、前年度末比8.0兆円減少し、40.6兆円となりました。引き続き、安定保有を原則としつつ、市場環境を踏まえた適切な運用を継続していきます。

有価証券の含み損益



国内株式の評価益は増加しましたが、外債の評価益の減少により、全体では、前年度末比ほぼ横ばいの1.86兆円となりました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は11.25%と、十分な水準を確保しています。

* 普通株式等Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

1 三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券として新たにスタート

富裕層向け金融サービスを専門に行う三菱UFJメリルリンチPB証券は、平成26年3月に「三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券」に称号を変えて新たにスタートしました。これは、同社の主要株主が三菱UFJモルガン・スタンレー証券に変更となったことに伴うものです。同社は、英国金融誌「ユーロマネー」の調査において「ベスト・プライベート・バンク」(日本部門)を受賞するなど高い評価を受けています。今後はモルガン・スタンレーが有するグローバルな情報分析力をもとに、より一層お客さまのニーズに合った資産運用や資産承継などのアドバイスを提供していきます。

 三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券



2 「ずっと安心信託」三菱東京UFJ銀行でも取扱い開始

平成26年5月、三菱東京UFJ銀行は信託代理業務として、三菱UFJ信託銀行の商品「ずっと安心信託」の取扱いを開始しました。

本商品は、お客さまのご資金を生前から相続発生後まで長期にわたり管理し、ご自身またはご家族のために、計画的にお受け取りいただける元本保証・管理手数料無料の信託商品で、平成24年に「日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞」(日経ヴェリタス賞)を受賞、これまでに7万件を超えるお申し込みをいただいています。お客さまのご資金について、①「お客さまご自身が長期間にわたり計画的に受け取れる」、②「万一の際に、ご家族が簡単な手続きで一時金を受け取れる」、③「相続後に、ご家族が計画的に受け取れる」、という3つの安心をあらかじめ自由に組み合わせてご利用いただけます。

お問い合わせ・ご相談は、三菱UFJ信託銀行および三菱東京UFJ銀行の窓口で受け付けています。



3 大規模商談会「第11回 Business Link 商賣繁盛 at INTEX OSAKA」を開催

平成26年2月、三菱東京UFJ銀行をはじめとするMUFGのグループ会社が大規模商談会を開催しました。これは、法人のお客さまの新たなビジネス機会の創出を支援すべく、MUFGが注力している「ビジネスマッチング(お取引先紹介)」の一つです。今回は、海外の出資・子会社であるタイのアユタヤ銀行、米国のユニオンバンク、ベトナムのヴィエティンバンクや海外の政府関連機関も参加するなど国際色豊かな商談会となり、参加企業は過去最多となる約3,200社、商談も約7,100件行われました。参加企業のお客さまからは、「新たな仕入れ先の開拓や、海外への販路拡大、新規分野への参入などに関して有意義な情報収集や商談ができた」といった感想が寄せられました。



4 三菱東京UFJ銀行、インドにバンガロール支店を開設

平成26年4月、三菱東京UFJ銀行は、インド南部のカルナタカ州にインドで5番目の拠点となるバンガロール支店を開設しました。バンガロール市は、同国第4位の経済都市で、日本からは、自動車関連企業をはじめとする約300社*1の企業が進出しているほか、近年はIT企業の進出も増加しています。また、平成26年1月には、日印政府間で、チェナイ・バンガロール間産業回廊構想*2に向けて両国が協力していくことが話し合われるなど、今後、大規模なインフラ整備事業の進展が期待されています。

三菱東京UFJ銀行は、昭和28年よりインドにおいて事業を展開してきました。今後は、邦銀随一の充実したインド国内でのネットワークを活かし、より一層利便性の高いサービスを提供していきます。



*1 平成26年1月時点

*2 チェナイとバンガロールを結ぶ幹線道路建設計画

インドにおける三菱東京UFJ銀行の拠点

MUFGは、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。今回は、スポーツを通じた社会貢献活動や、京都嵐山にある小倉山の景観保全に向けた取り組みなどをご紹介します。

スポーツを通じた社会貢献活動

卒業記念サッカー大会「MUFGカップ」

平成26年2月から3月にかけて、MUFGは、小学校時代最後の思い出づくりに、小学6年生を対象に卒業記念サッカー大会を開催しました。7年目となる今回は、東京・大阪・名古屋の各地域で大会が開催され、MUFGのグループ従業員約80名がボランティアとして大会運営に携わりました。熱い試合を繰り広げた約1,000名の参加者からは、「仲間とのいい思い出になった」といった感想が寄せられました。



MUFG提供新番組「ひと・まち紀行」(BS-TBS)スタート

平成26年5月17日(土)、MUFGが提供する新番組「ひと・まち紀行」がBS-TBSでスタートしました。この番組は、写真家がある街を訪れ、取材を通じてその街で頑張っている人々を街の魅力とともに伝える番組です。MUFGはこの番組を通じて、頑張る人や企業を応援していきます。

毎週土曜よる 10:00～10:54 放送



MUFGの地域貢献活動(第6回)

京都 ～小倉山再生プロジェクト～

平成26年3月、京都嵐山にある小倉山で、三菱東京UFJ銀行のボランティアが地元の方々とともに、植樹を行いました。

小倉山は、かつては和歌にも詠まれる美しい景観で知られていましたが、近年は、病害虫によるナラ枯れやマツ枯れが進み、手入れが必要とされていました。そこで、小倉山の森林景観保全を目的に、同行のほか公益財団法人三菱UFJ環境財団、京都市、地域のボランティアにより「小倉山再生プロジェクト」が発足、今回の植樹が行われました。平野頭取をはじめ同行から参加した約40名のボランティアは、地元の方たちとともに美しい小倉山の景観保全を願い、約500株のアカマツの苗木を植えました。



MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金「バレーボール教室」

平成26年3月、三菱東京UFJ銀行は一般社団法人日本バレーボールリーグ機構と共同で、東日本大震災の被災地、福島県でバレーボール教室を開催しました。これは、トップレベルのスポーツ選手と接することで子どもたちに夢を追いかける大切さを学んでもらうことを目的としたイベントで、参加した約200名の中学生たちは元日本代表選手とともにバレーボールを楽しみました。



株主優待制度 寄付コースのご報告

平成26年の株主優待制度「『MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金』への寄付」に、約3万4,000名の株主さまが応募され、寄付金総額は53,485,000円となりました。ご応募いただいた株主の皆さまには厚く御礼申し上げます。

MUFG 株主セミナー開催のお知らせ

MUFGでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象に、下記のとおりセミナーを開催いたします。なお、当社株式を長期に保有いただいている株主さまへの感謝として、ご応募いただいた方のうち、当社株式を5年超保有*の株主さまの当選倍率を通常より2倍に優遇させていただきます。

*中間期末日および期末日の株主名簿に連続11回以上記載

1. 動画配信

経済セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。詳細は以下をご覧ください。

|| **リンク先情報**
当社ホームページ内『動画配信』(<http://www.muftg.jp/investors/movie/>)



|| **ユーザー名** || **パスワード**
muftg 201410

2. 開催概要


募集対象者 …………… 平成26年3月末時点で当社株式をお持ちの株主さま
(ご同伴は1名さままで可)

参加費 …………… 無料

① 経済セミナー(東京・大阪・名古屋)

開催日 募集人数	【東京】 東京都千代田区	平成26年10月9日(木)* ¹	各回380名
	【名古屋】 愛知県名古屋市中区	平成26年10月14日(火)* ²	各回150名
	【大阪】 大阪府大阪市中央区	平成26年10月15日(水)* ¹ 平成26年10月16日(木)* ²	各回150名
時間	[午前の部] 10:30 ~ 12:00頃 [午後の部] 14:00 ~ 15:30頃		
開催場所	各地域のグループ会社内会議室		
内容	テーマ:「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員調査本部長 五十嵐 敬喜 氏 調査部長 鈴木 明彦 氏		 五十嵐 敬喜氏
	*1の講師は五十嵐氏、*2の講師は鈴木氏を予定しています。		 鈴木 明彦氏

② 為替相場セミナー&ディーリングルーム見学会(東京)

開催日 募集人数	第1回 平成26年10月1日(水) 第2回 平成26年10月2日(木) 第3回 平成26年10月3日(金)	各回100名
時間	13:30 ~ 16:00頃	
開催場所	三菱東京UFJ銀行内会議室およびディーリングルーム(東京都千代田区)	
内容	第一部: 為替相場セミナー(三菱東京UFJ銀行のアナリストが解説いたします) 第二部: ディーリングルーム見学会(ディーラーが取引を行う現場をご覧ください)	

3. 応募要領

応募方法: 同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。
締め切り 平成26年7月28日(月) 消印有効

ご記入要領

- ご希望のセミナーおよび開催日時を選択してください(いずれか一つをお選びください)。
- 株主さまのご住所、お名前(ふりがなを含む)、お電話番号、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名欄の下段8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者さまがいらっしゃる場合は、その方のご住所、お名前(ふりがなを含む)もご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

抽選の上、当選された株主さまには平成26年9月中旬にご招待状をお送りいたします。

◎ご注意◎

- 当日の受付時刻および場所等の詳細につきましては、当選された株主さまのみにご案内いたします。
- 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
- 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には、無効となる可能性がございます。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

お問い合わせ先: 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG株主倶楽部
専用デスク 0120-321-629 (通話料無料)

代表電話 03 (3240) 8111 (通話料有料)

受付時間: 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00

会社情報 / 株式情報

取締役・監査役 (平成26年6月27日現在)

取締役会長 (代表取締役)	その 園 潔	取締役	ながおか たかし 長岡 孝	取締役*	まつやま はるか 松山 遙
取締役副会長 (代表取締役)	わかばやし たつお 若林 辰雄	取締役	おかもと しゅんいち 岡本 純一	常勤監査役	ねもと たけひこ 根本 武彦
取締役社長 (代表取締役)	ひらの のぶゆき 平野 信行	取締役	のぐち ひろゆき 野口 裕幸	常勤監査役	みくも たかし 三雲 隆
取締役副社長 (代表取締役)	たなか まさあき 田中 正明	取締役*	あらかし りゅうじ 荒木 隆司	監査役**	いけだ やすし 池田 靖
専務取締役 (代表取締役)	ゆうき たいへい 結城 泰平	取締役	かわもと ゆうこ 川本 裕子	監査役**	こじま ひでお 小島 秀雄
専務取締役 (代表取締役)	かがわ あきひこ 加川 明彦	取締役*	おくだ つとむ 奥田 務	監査役**	さとう ゆきひろ 佐藤 行弘
常務取締役 (代表取締役)	くろだ ただし 黒田 忠司	取締役*	おかもと とくにえ 岡本 園衛		

* 荒木 隆司、奥田 務、岡本 園衛、松山 遙の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
** 池田 靖、小島 秀雄、佐藤 行弘の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 / 中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL: http://www.mufg.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)
	事務取扱場所
	お問い合わせ先・ 郵便物送付先
	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: 0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

■ 株式に関する手続き

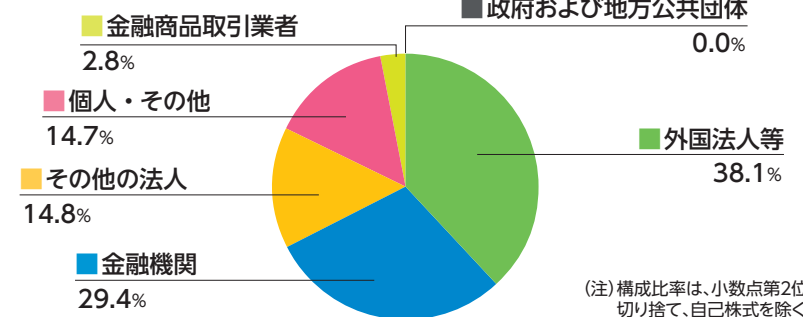
住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、お取引の証券会社等にお問い合わせください。 特別口座に当社株式が記録されている株主さま上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

(注) 「特別口座」とは、株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、平成21年1月の株券電子化制度への移行時に、株主の権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。

株式の状況 (普通株式) (平成26年3月31日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	14,164,026,420 株
	株主数	743,933 名

■ 所有者別分布状況



■ 大株主

	所有株式数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	687,872,700	4.85
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	589,568,800	4.16
3 ザ バンク オブ ニューヨーク メロン エスエー エヌブイ 10 (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	313,508,710	2.21
4 ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	223,166,446	1.57
5 日本生命保険相互会社	198,137,853	1.39
6 ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズ (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	186,466,730	1.31
7 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.23
8 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 1)	172,662,600	1.21
9 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 2)	157,029,900	1.10
10 ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505225 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	156,934,894	1.10
合計	2,860,348,633	20.19
発行済株式総数	14,164,026,420	100.00

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人であります。

グループメッセージについて

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は
『質』の高いサービスの提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の
発展にも貢献していきたい」という
私たちの姿勢を表しています。
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は
「いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい」
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)